

- (1) ホームページの更新を迅速化し、会員サービスの向上と広報の充実
- (2) 広告代理店等企業と連携した効果的な広報活動
- (3) 栄章、表彰の充実
- (4) マスターズ大使の活用
- (5) 会報・記録集の発行

3 国際的活動

国際的にも元気な高齢者が増加しており、生涯スポーツの重要性が高まっています。本連合では国際大会および国際会議に参加し、マスターズ陸上に関する国際情報の収集と交流を推進します。

- (1) 国際大会への選手団派遣
- (2) 世界記録の申請事務
- (3) WMA, AMA等国際機関の会議への役員派遣

4 財政基盤の確立

現在の社会・経済状況下において国や地方公共団体からの助成金、企業からの協賛金の支援も厳しいものがあり、平成28年度に会費を値上げしたものの本連合の財政基盤はなお脆弱さからは脱却したとは言えません。また、日本陸連全員登録による会員の負担増により、しばらくは会員減が予測されますが、事業を円滑に運営するため、引き続き財源の確保に努める必要があります。

- (1) 新規会員の獲得
 - ①全日本マスターズマラソン大会の一般化により入会を誘引
 - ②公益目的事業の活動によるマスターズ陸上の知名度の向上
- (2) 公益社団法人としての活動
 - ①協賛企業の発掘の推進
 - ②公益目的事業の充実による認知度の向上
 - ③日本陸連への全員登録により、ウェルネス陸上への参画
 - ④調査、研究の支援、普及啓発の推進
ドーピング問題の対応の調査研究および普及啓発

5 業務運営・企画の効率化

マネジメント機能を強化し、事業の体系的な運営を図り、より一層業務の効率化、組織の活性化を図ります。

- (1) 専門委員会主導の事業運営・企画
- (2) 事務局体制の充実と人材の発掘
- (3) 各連盟の活性化のため地域ブロック連盟と連合との情報・意見交換会